

2025年9月14日 聖日礼拝メッセージ 牧師：伊藤 博

《テーマ》「生き生きとした再臨信仰に生きる」

・・テサロニケ教会の信徒に学ぶ・・

《みことば》Ⅰテサロニケ1：6～10（AD51年頃、パウロがコリントで執筆）

6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもって

みことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

7 その結果、あなたがたは、マケドニアとアカイアにいるすべての信者の模範になったのです

8 主のことばがあなたがたのところから出て、マケドニアとアカイアに響き渡っただけでなく、神に対するあなたがたの信仰が、あらゆる場所に伝わっています。そのため、私たちは何も言う必要がありません。

9 人々自身が私たちのことを知らせています。私たちがどのようにあなたがたに受け入れてもらったか、

また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、

10 御子が天から来られるのを待ち望むようになったかを、知らせているのです。この御子こそ、

神が死者の中からよみがえらせた方、やがて来る御怒りから私たちを救い出してくださるイエスです。

《本日のメッセージ》

A、主は間もなくおいでになるという『再臨信仰』に生きましょう。

1、テサロニケの教会の信徒は、信仰を持って1年未満であるにも関わらず、再臨信仰に燃えていました。

a、彼らは、パウロとシラスの『第二次伝道旅行』の時に救われました。（AD51年頃）（使徒17:1～4参照）

b、彼らは、多くの苦難の中でも、素晴らしい信仰を持ち、すべての信者の模範となりました。 7節

c、彼らは、救われて間も無い信仰者でしたが、再臨を「待ち望む」生き生きとした信仰に立っていました。

「待ち望む」“ἀναμένω アナメノー” ・・・ただ待つというのではなく、 10節

「前もって来ることが分かっている・来ることがあらかじめ知られている人が来るのを待つ、

信頼して・確信をもって・忍耐深く・どんなことがあっても不動の心をもって待つ。」の意味です。

d、使徒パウロは、テサロニケの信徒の信仰を称賛し、励まし、また教えました。

「私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのは、いったいどれでしょうか。あなたがたではありませんか。」 2:19

「そして、あなたがたの心を強めて、私たちの主イエスをご自分のすべての聖徒たちとともに来られるときに、私たちの父である神の御前で、聖であり、責められるところのない者としてくださいますように。

アーメン。」 3:13 （Ⅰテサロニケ5:23 B-2参照）

2、主の『再臨信仰』は、あなたの信仰を本物にし、あなたを大きな恵みに満たします。

a、あなたは、キリストによる罪の赦しを信じていますか？・・キリストの再臨を信じていますか？

☆テサロニケの人々のように生き生きとした『再臨信仰』に立っていますか？

b、再臨の信仰は、あなたにとって大きな恵みとなります。

「キリスト再臨の信仰は、聖書を新しい生きた書物として私に与えました。私のために人生の謎を解き、死の悲痛を取り除きました。私はキリストの再臨を信じて、死の悲痛を根本から癒されました。

Ⅰテサロニケ4:13 以下のみ言葉を文字通りに信じて以来、死は信者に臨む一時的な出来事にすぎないことがわかり、言い尽くされない慰めを感じます。・・聖書のこの言葉を文字通りに信じることにより、死は、無きに等しいものとなるのです。」内村鑑三【1861～1930 文学者・伝道者・聖書学者】



B、生き生きとした『再臨信仰』とは？

1、『再臨信仰』とは、イエス様を救い主として信じ、聖書のみことばに従う生き方をすることです。

7・・・このことは、主イエスが、燃える炎の中に、力ある御使いたちとともに天から現れるときに起こります。

8 主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に罰を与えられます。Ⅱテサロニケ 1:7～8

a、イエス様を信じ、罪の赦しを得る事が、「再臨」の時に天に挙げられるための絶対条件です。

1 あなたがたは心を騒がせてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。

2 わたしの父の家には住む所がたくさんあります。そうでなかったら、あなたがたのために場所を用意しに行く、と言ったでしょうか。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を用意したら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしがいるところに、あなたがたもいるようにするためです。



ヨハネ 14:1～3

b、生き生きとした『再臨の信仰』とは、イエス様の福音・聖書のみことばに従う生き方をすることです。

『みことばに従う生き方をしなさい・みことばを行う者になりなさい』 伊藤師への主からの語りかけ

2、『再臨信仰』は、私たちが聖くされるため・変えられるために「悔い改め」に導かれます。

「平和の神ご自身が、あなたがたを完全に聖なるものとしてくださいますように。あなたがたの霊、たましい、からだのすべてが、私たちの主イエス・キリストの来臨のときに、責められるところのないものとして保たれていますように。」

Ⅰテサロニケ 5:23

a、主の再臨の時、私達の行いや言葉、心に汚れ・不純なものがあつたとしたらどうでしょうか？

b、「再臨信仰」の最大の恵みは「悔い改め」μετανοια メタノΙΑ メタ(変化・変更)+ノΙΑ(心・思い) が、あることです。

☆「悔い改め」とは『方向転換です。心と思い・考え方を、生き方を変えること！』です。

①不正をしていた取税人ザアカイは、イエス様の前で「悔い改め」新しい歩みを始めました。ルカ 19:1～10

②イエス様は、エルサレムの神殿にいた商売人や両替人を追い出し『宮きよめ』をしました。

マタイ 21:12～13 マルコ 11:15～17 ルカ 19:45～46、(ヨハネ 2:14～16) 全福音書にあります！

③悔い改めて、『神の神殿・聖霊の宮』なる私たち自身を、イエス様の血によってきよめられましょう。

3、『再臨信仰』は、私達を魂の救いを熱望する福音宣教へと駆り立てます。

8節

a、主は間もなく来られるとの『再臨信仰』に立って、十字架の救いの福音を宣べ伝えましょう。

「御国のこの福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての民族に証しされ、それから終わりが来ます。」

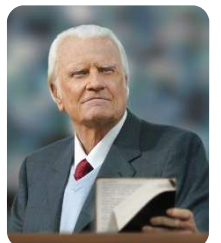
マタイ 24:14

b、「主の忍耐は救いであると考え」すべての人が悔い改めに進むことを祈りつつ、福音をお伝えしましょう。

9 主は、ある人たちが遅れていると思っているように、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して忍耐しておられるのです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。・・・15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。

Ⅱペテロ 3:9,15a

「私の経験によれば、主の再臨を信じている者たちが、最も一生懸命に、最も熱心に、そして、最も献身的に働いているのである。・・・王なるお方が、来られる！・・・私たちは、その日、その時を知らない。たとえ彼が今夜来られるとしても、そして私たちが、そのことを確信しているとしても、私たちは主の仕事に忙しくいそむことだろう」



【米 1918～2018 年 伝道者・牧師、世界 185 の国と地域で2億1500万人近くに福音を伝えてきた。】